

- 問1 律令制度において、班田収授法に基づき、戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に政府から一生の間与えられた土地の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。(2021年 山口公立入試 類似)
1. 口分田 2. 公田 3. 位田 4. 私田
- 問2 奈良時代の743年に出された、新しく開墾した土地の永久私有を認める法律と、その法律が日本の社会に与えた影響について、正しい説明はどれか。(2019年 長野県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。
2. 班田収授の法が制定されたことで、農民に口分田が与えられるようになり、公地公民の原則が確立された。
3. 三世一身の法が制定されたことで、三代にわたる土地の私有が認められ、農民の開墾意欲が永続的に維持されるようになった。
4. 太閤検地が実施されたことで、土地の所有者が確定し、年貢を納める責任者が明確になった。
- 問3 奈良時代には、戸籍に登録された人民に対して土地を貸し与える「班田収授法」が行われていました。この制度の基盤となった、すべての土地と人民は国家（天皇）のものであるとする基本的な考え方を何といいますか。(2015年 岐阜公立入試 類似)
1. 公地公民 2. 地租改正 3. 検地 4. 封建制度
- 問4 大宰府（現在の福岡県）に赴任した役人である大伴旅人らの交流や、そこから九州の警備に派遣された人々の心情を読み取ることができる資料についての説明として、最も適切なものはどれですか。(2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。
2. 平安時代に紀貫之らによって編纂された、最初の勅撰和歌集である。
3. 鎌倉時代に後鳥羽上皇の命でまとめられた、情景の美しさを強調する歌集である。
4. 飛鳥時代に天武天皇の命で編纂が始まった、日本で最も古い歴史書である。
- 問5 律令制において、各地の特産物を都まで運んで納める義務があった税は何と呼ばれますか。平城京跡から出土した、荷札として用いられた木簡などの記述を参考に、正しいものを選択してください。(2016年 静岡公立入試 類似)
1. 租 2. 庸 3. 調 4. 公事
- 問6 聖武天皇が全国に国分寺を建立させ、東大寺に巨大な大仏を造らせた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。(2017年 奈良公立入試 類似)
1. 疫病の流行や反乱などの社会的不安を、仏教の力によって鎮めようと考えたため。
2. 遣隋使によってもたらされた新しい仏教の教えを、国民に広く普及させるため。
3. 蘇我氏などの有力豪族が持つ権力を抑え、天皇中心の中央集権体制を確立するため。
4. 大陸から伝わった高度な鑄造技術を誇示し、近隣諸国に対して国威を示そうとしたため。
- 問7 律令国家において、「班田収授法」に基づき人々に与えられた「口分田」の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。(2018年 大阪公立入試 類似)
1. 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。
2. 戸籍に登録された15歳以上の男子のみに与えられ、子孫が代々受け継ぐことができた。
3. 新しく土地を開墾した者に与えられ、その者の私有地として永久に所有することが認められた。
4. 有力な貴族や寺院に対してのみ与えられ、その収穫はすべて個人の利益となった。
- 問8 奈良時代の仏教政策において、唐から鑑真が招かれた主な目的と、その後の影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。(2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため
2. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗の教えによって国家の安泰を図るため
3. 困窮する人々のために橋の建設や社会事業を行い、民衆への布教を直接促すため
4. 真言宗の教えを広めることで、貴族だけでなく広く地方の武士にも信仰を浸透させるため
- 問9 7世紀から9世紀にかけて、日本が律令などの進んだ制度や仏教文化を直接学ぶために、たびたび使節を派遣した中国の王朝はどこか。(2018年 大阪公立入試 類似)
1. 漢 2. 魏 3. 唐 4. 宋
- 問10 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならない、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鑄造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。(2017年 三重公立入試 類似)
1. 唐 2. 宋 3. 元 4. 明
- 問11 奈良時代、律令国家としての体制が整う中で、『古事記』や『日本書紀』が編纂された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。(2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため
2. 地方の産物や地理、伝承などを記録して、中央政府が地方の実態を把握するため
3. 防人や貴族など、幅広い身分の人々が詠んだ和歌を収集し、文化を保存するため
4. 仏教による鎮護国家の思想を広め、社会の不安や疫病を鎮めるため
- 問12 奈良時代、人口の増加にともなって「班田収授法」で農民に分け与えるための公地が不足しました。この状況を解決するために743年に出された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにするのを認めた法令は何ですか。(2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法 2. 三世一身の法 3. 公事方御定書 4. 武家諸法度
- 問13 奈良時代の代表的な歌人である山部赤人が、和歌の浦（現在の和歌山市）の美しい情景を詠んだ歌などが収録されている、わが国に現存する最古の歌集を何といいますか。(2018年 和歌山公立入試 類似)
1. 万葉集 2. 懐風藻 3. 古今和歌集 4. 新古今和歌集
- 問14 奈良盆地の北部に位置し、基盤の目状に区画された都市計画を持つ都があります。中央を南北に貫く朱雀大路を境に、東側を左京、西側を右京と呼び、さらに左京の東側には「外京」という張り出し部分が設けられていました。710年に唐の都である長安をモデルに建設されたこの都の名称として正しいものはどれですか。(2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 平城京 2. 平安京 3. 藤原京 4. 難波宮

答え合わせ・解説

問1	答え 1 口分田	律令国家の基本方針である「公地公民」の原則に基づき、政府は人々に生活の基盤となる土地を割り当てました。この土地を口分田と呼び、6歳以上の男女に一定の面積が与えられ、その代償として租（稲の収穫の約3%）などの税を納める義務を負わせました。
問2	答え 1 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。	奈良時代、人口の増加に伴い、政府が農民に分け与える土地（口分田）が不足しました。これに対処するため、743年に「墾田永年私財法」が制定され、新しく開墾した土地の永久私有が認められました。この法により、豊富な財力を持つ貴族や寺院が大規模な土地を所有する「荘園」が形成されるようになり、それまでの「すべての土地と人民は国家のもの」とする公地公民の原則が崩れていくことになりました。
問3	答え 1 公地公民	大化の改新から律令国家の形成過程において、それまで豪族が私有していた土地や人民を国家が直接管理する方針が示されました。これが公地公民の原則です。この原則があるからこそ、国家は人民に「口分田」を貸し出し、死後には返還させるという再分配のシステムを運用することができました。
問4	答え 1 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。	万葉集には、大宰府で「梅花の宴」を開いた大伴旅人や山上憶良といった貴族の歌のほか、東国から九州へ派遣された「防人」の切実な思いを詠んだ歌が多数収録されています。このように、身分を問わず多様な人々の作品が集められている点が、後の勅撰和歌集（古今和歌集など）とは異なる大きな特徴です。
問5	答え 3 調	律令制下における税制のうち、布や塩、海産物、木綿といった各地の特産物を都に納める負担を「調」と呼びます。平城京跡からは、肥後国（現在の熊本県）から調として木綿が送られたことを示す木簡が発見されており、当時の物流や税制の仕組みを裏付ける貴重な資料となっています。一方、「租」は田の面積に応じて稲を納めるもの、「庸」は都での労役に代えて布などを納めるものです。
問6	答え 1 疫病の流行や反乱などの社会的不安を、仏教の力によって鎮めようと考えたため。	当時の日本は、天然痘（疫病）の爆発的な流行や、藤原広嗣の乱といった政治的混乱の中にありました。聖武天皇は、このような災いから国家を救うために鎮護国家の思想にすがり、東大寺を全国の国分寺の総本山と位置づけて大仏を建立しました。
問7	答え 1 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。	大化の改新以降、土地と人々はすべて天皇のものとする「公地公民」の原則が立てられました。これに基づき、政府は戸籍を作成して人々の把握に努め、6歳以上の男女に一定の土地（口分田）を貸し与える班田収授法を実施しました。この土地はあくまで国から借りているものという位置づけであったため、本人が亡くなると国に返す必要がありました。
問8	答え 1 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため	当時の日本では、税を逃れるために勝手に僧侶を名乗る者が増えたことが社会問題となっていました。そのため、国家は唐から高僧である鑑真を招き、正式な儀式（授戒）を経て僧侶となる仕組みを確立させました。これにより、仏教界の質と規律が向上しました。なお、天台宗は最澄、真言宗は空海、社会事業は行基に関連する内容です。
問9	答え 3 唐	日本は7世紀初めから遣隋使を送り、隋が滅んだ後は唐に使節（遣唐使）を送りました。唐の優れた政治制度や文化は、当時の日本の国づくりに大きな影響を与え、国際色豊かな「天平文化」などが発展するきっかけとなりました。
問10	答え 1 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問11	答え 1 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため	律令制度によって国家の仕組みが整えられたこの時期、国内外に対して日本の成り立ちや、天皇が日本を統治する根拠を説明する必要が生じました。そのため、神話や伝承、過去の出来事をまとめた『古事記』や、中国の歴史書にならって編年体で記された『日本書紀』が作成されました。なお、地方の地理などを記したものは『風土記』、和歌を集めたものは『万葉集』です。
問12	答え 1 墾田永年私財法	人口が増加したことで、それまでの班田収授法による公地の分配が困難になりました。政府は土地不足を解消するため、開墾を奨励する目的でこの法令を出し、土地の永久私有を認めました。これがきっかけとなり、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が拡大することになります。
問13	答え 1 万葉集	山部赤人は、柿本人麻呂とともに「歌聖」と称される奈良時代の歌人です。この歌集には、彼のような宮廷歌人による格調高い作品から、地方の民謡に近い「東歌（あずまうた）」まで、多様な層の歌が収められています。平安時代に編纂された日本初の「勅撰和歌集」である古今和歌集とは、編纂された時代や収録されている歌風が異なります。
問14	答え 1 平城京	元明天皇の時代に、それまでの藤原京から遷都された都です。唐の都である長安を模した大規模な都市計画がなされており、日本の律令国家としての体制が整えられた時期の象徴的な場所です。図で見ると左京のさらに東に張り出している「外京」には、東大寺や興福寺といった大寺院が建立されました。